



入場者1万5千人達成を祝った児童ら

入場者1万5000人突破

喜多方

喜多方市の荒川産業（荒川健吉社長）のリサイクルミュージアム「くるりんご」の入場者が十八日、一万五千人を突破した。社会科見学で訪れた市内の郷小四年生八人に記念品が贈られた。

ミュージアムは環境情報拠点・教育施設として同社が一九九四年（平成〇年）に開設し、二十五年を迎えた。さまざまな資源が再生される工程を説明したパネル、身の回りのリサイクル製品、リサイクル関連の図書などを展示している。一万五千人達成を記念しては、荒川社長と児童が記念のくす玉を割った。荒川社長が訪れた児童に繰り返し使えるエコボトル、トイレットペーパーをプレゼントし、同校に生ごみから作った堆肥一年分相当を贈った。

細道の奥

▽：限りのある資源を大事にします。

（平成6）年に造った。現在は社会科見学にも利用されている。

資源リサイクルなどを手掛ける荒川産業（喜多方市）が運営するリサイクルミュージアム「くるりんご」の来場者が1万5千人を達成した。18日、同施設でセレモニーが行われた。写真。

▽：ミュージアムは同社が市民らにリサイクルの必要性や大切さを分かりやすく伝えようと、1994



▽：1万5千人目の入場者は、高郷小4年生ら9人。児童は突然のサプライズに驚きながら、エコボトルやトイレットペーパーをもらい、思わぬ形でエコの良さを体感した。